

1. 課題理解と提示	
(1)学びに適した環境設定	
・授業の初めに、授業に必要なものが準備されているか確認する(教師・子ども自身で)	
・スケジュール表で、授業の流れや単元の見通しを示す	
・授業に集中して参加できるように座席の配置を工夫する	
・前時の学習内容を確認する(教師・子ども自身で)	
・本時の学習活動(きまり)と学習内容を提示する	
(2)学習理解のための基本的な支援	
・学ぶ内容の重要事項、全体像、関係性がわかるように工夫する	
・ことばだけではなく、視覚的手がかりやICT(機器)を活用する	
・視覚情報(図、記号など)が理解できるよう、意味や内容をわかりやすく説明する	
(3)教科の特性にあった提示の工夫	
・学習に使用する重要な用語を明確にし、定義をわかりやすく説明する	
・数学や理科で使用する記号や公式をわかりやすく(視覚化、具体化)説明する	
・学習の重要な事柄(公式や図など)を表にして提示時間を確保する	
(4)授業内容理解の基本的な支援	
①板書の工夫	
・字を大きくしたり間隔をあけるなど、見やすく書く	
・要点が理解できるよう、色を変えたりアンダーラインを引いたりする	
・黒板を分割するなど、ゆっくり板書を写せるように工夫する	
・板書は1時間1枚にとどめ、思考の流れが(ノートを見ると)一目でわかるようにする*	
②指示説明の工夫	
・教師に注目していることを確認して指示説明する	
・指示説明が理解できているか、行動観察や質問で判断する	
・指示説明は短く、具体的に、肯定表現を使う	
・メリハリのある言い方をする	
・全体に指示を出したあとで、適宜個別に指示する	
・説明を聞く時間と書く時間を別にする(書いているときには説明しない)	

*板書とノートが対応できるように板書の仕方を工夫する

2. 考えの表現と課題解決

(1)子どもの主体的な意思表現を促進する支援

- ・答えやすいように回答の選択肢を提示する
- ・何でも言える雰囲気を作り、子どもの発言を積極的に認める
- ・失敗に対して寛容的な雰囲気を作る
- ・授業中、理解しているかどうか確認する(サイン、表示、クイズなど)
- ・積極的に発言できるよう、考えをまとめる時間を確保する
- ・どんな意見でも、発表できたことを評価する
- ・ことばに代わる様々な意思表示手段(身振り、絵カード、文、VOCA**)を認める

(2)課題解決のための支援

- ・問題の解き方がわかる資料や教材を提供し使い方を教える(ICTを含む)
- ・一人で問題が解ける力を育成する(やってみせる、やらせてみる、一人でやってみるなど)
- ・課題解決のために図式化して考える方法を教える
- ・課題解決の道筋を示す手続き表(マニュアル)やチェックリストを提供する
- ・自分で調べる方法やツールを提供する(辞書、インターネット、アプリ)
- ・机間巡視をして課題解決を支援する
- ・ティームティーチング(学習補助員、複数担任制)を導入する
- ・ICTを使った双方向の学びを取り入れる(ロイロノート***など)

(3)他者の意見を理解するための支援

- ・提案された意見がわかるように提示する(板書の工夫、視覚化、ICT、ミニ黒板、ホワイトボードなど)
- ・提案された意見が理解できるように工夫する(分類、概念化、対照表など)
- ・ペアやグループなど、子ども同士と一緒に学習する活動を取り入れる
- ・ペアやグループなど、役割分担し協力して課題解決できる活動を取り入れる

**ことばに変わるコミュニケーション手段で、音声表出が可能な機器

*** <https://n.loilo.tv/ja/>

3. 学びの自己管理と意欲
(1)学習の意欲を高める工夫
・子どもの答えや意見を確認し、問われていることへの結果(正誤など)を明確にする
・誤答や不明瞭な意見には、よりわかりやすい表現で再度質問する
・子どもの答えや活動の結果を賞賛する
・正答ではない回答や不本意な結果に対しても、その努力を認める
・学習目標の達成や学習活動の実行にトークンシステムを導入する****
・達成感のある課題を出す
・子どもが一人で取り組み、解決できるレベルの課題を出す
・やさしい課題や目標からはじめ、段階的にレベルを上げる*****
(2)学習活動と学習内容の自己管理支援
・本時の学習の振り返りが自己評価できるよう、チェックリストを使う
・学習活動と学習内容の自己評価を導入する(授業モデル参照)
・学んだことを隣の人(第三者)に説明する
・チェックリストの使い方を説明したり練習したりする
・ルールが守れたかセルフモニタリングを教える(導入する):ユニバーサルプログラム*****
・学習内容理解を確認するために小テストを実施する
・学習内容がわからなかったりできなかったときの対処方法を教える(準備する)
・わからなかったことを解消できる資料を用意する(提供する)
(3)次の学びにつなげる支援
・本時に学んだことを前時の学習内容と関連づける
・本時に学んだことを全体の単元と関連づける
・本時の学びの定着をはかるために、課題を出す(宿題、発展課題など)
・(各教科の)学力を客観的に自己評価できるようチェックリストを使う

****目標通りできたことにポイントを与え、獲得ポイントに応じて褒美を与えること

*****学習の到達目標を安易に下げるのではない。あくまでも標準の目標を全員に適用す

***** セルフモニタリングとは、目標通りできたか自分自身で振り返ること。ユニバーサルプログラムとは、同じきまりや目標を全員で守るよう指導すること